

廃棄物エネルギー利活用施設の整備に関するサウンディング型市場調査の
対話結果の公表について

令和3年4月30日
多可町産業振興課

1. サウンディング実施の経緯

多可町は、多可町中区徳畑地区に新ごみ処理施設が建設されることに伴い、その隣接農地において民間活用の導入を念頭に、新ごみ処理施設からの廃棄物エネルギーを園芸施設に利用する新たな資源循環型農業の実践による地域農業の振興の取り組みを検討しています。

そこで、民間事業者の皆様から広く意見や提案を求める対話を通じて、市場動向やアイデアを把握することを目的とする、サウンディング調査を実施しました。

対話の結果、以下の提案・意見をいただきましたのでその概要を公表します。

2. サウンディングの実施スケジュール

令和3年2月26日	サウンディング実施要領の公表
令和3年3月15日	見地見学会の開催
令和3年3月16日～令和3年4月16日	対話の実施
令和3年4月30日	サウンディング結果概要の公表

3. サウンディングの参加者

- (1) 現地見学会参加者 1社
- (2) 対話参加者 3社

4. サウンディング結果の概要

対話の対象項目	対話概要
余熱利用した園芸施設整備の立地の可能性	<ul style="list-style-type: none">・余熱利用は園芸施設の整備・運営において熱源としての利用価値は高く、立地の可能性はある。・用地に与える日影の影響を十分に調査の上、事業の確立性を検討する必要がある。・SDGsやESGなどの環境配慮の取組につながる事業要素があり、広くPRが可能なため事業者応募は行いやすい事業だと思う。

対話の対象項目	対話概要
用地整備にかかるアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日射量を園芸施設に多く取り入れるための土地活用を踏まえた整備が必要。 ・ 用地に高低差があるが、園芸施設経営の観点から段差のない平坦地となるよう整備することが重要。
園芸施設建設イメージ（配置、規模など）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用地整備と連携し、園芸施設を長方形に配置できることが重要。 ・ 日射量や余熱利用可能熱量及び付帯施設整備を考慮し、1 ha～2 haの園芸施設整備が考えられる。
余熱の利用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園芸施設内への放熱管およびヒートポンプや発電機を活用した余熱利用が考えられる。 ・ ごみ処理施設からの温水による余熱供給のほか、CO₂や電力の供給を検討して欲しい。
事業への参加意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加の意欲はある。 ・ 事業採算性が見込める計画の可能性が高まれば、参加を検討したい。 ・ 町からの支援等についても検討して欲しい。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新ごみ処理施設建設スケジュールに合わせた園芸施設の建設が可能。
取組にあたっての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日照等環境調査を実施したうえで事業性確保の検証が必要。 ・ 作物栽培に必要な井水の水質検査が必要。 ・ 園芸施設運営に必要な従業員の確保が必要。

5. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今後、上記のサウンディング結果を踏まえて、新ごみ処理施設からの廃棄物エネルギーを園芸施設に利用した新たな資源循環型農業の実践の可能性について引き続き検討を進めます。